

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 昭和村

事業名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.64	98.87	1,430	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,938	64.14	108.17
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,826	31.20	218.78

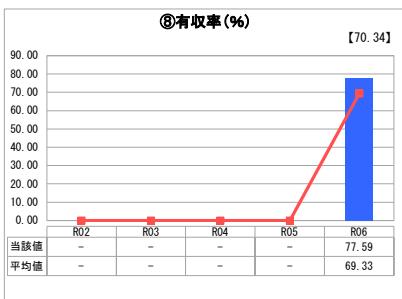
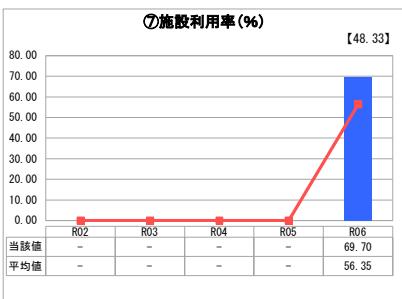
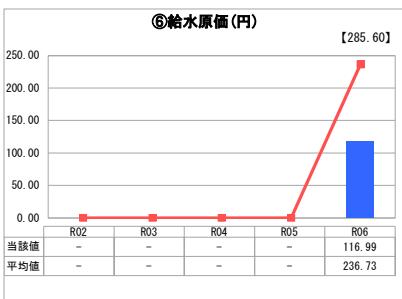
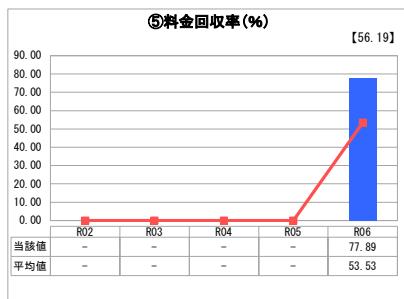
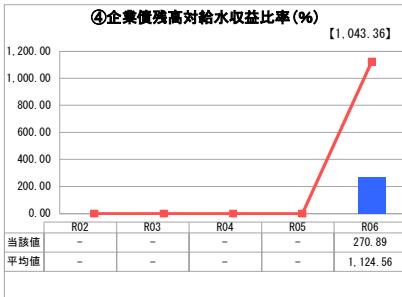
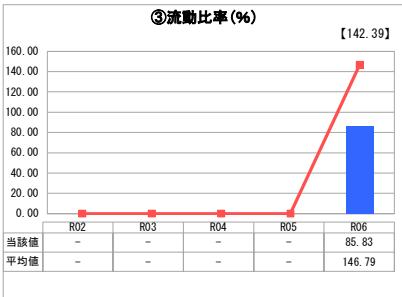
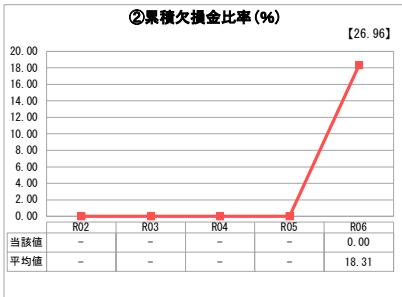
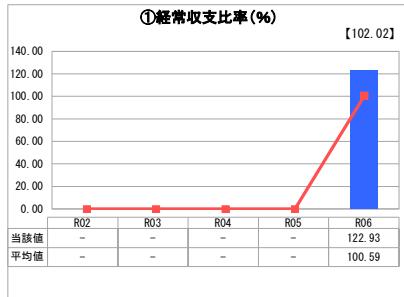
グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
□	令和6年度全国平均

分析欄

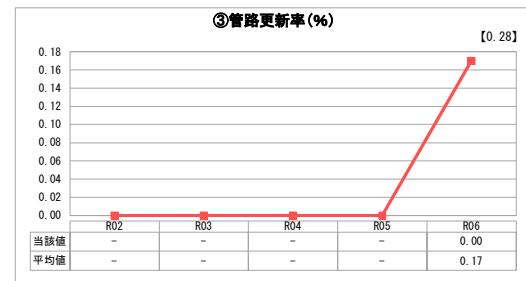
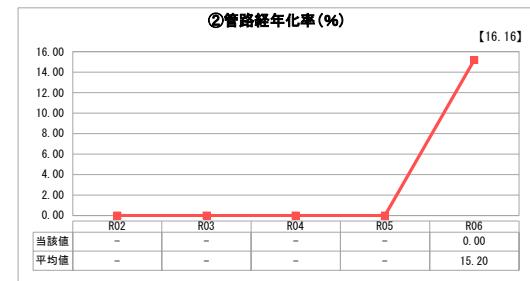
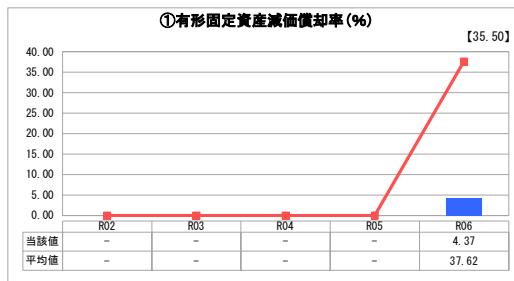
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 100%を上回っているが、依然として一般会計からの繰入金に頼っているため、今後も健全な経営を続けていくための努力をしたい。
- ② 累積欠損金比率は発生していない。
- ③ 全国平均及び類似団体平均の数値を下回る低い水準であるものの、将来的には使用料体系の見直しを行って行く必要がある。
- ④ 全国平均及び類似団体平均の数値を下回る低い水準であるものの、今後の施設更新需要に備え使用料収入の確保に努めたい。
- ⑤ 物価高騰対策で料金の減免をしたことにより、料金収入が減額となつたが、全国平均及び類似団体平均よりも料金回収率が高くなっている。
- ⑥ 施設管路の老朽化に対応する修繕料が減少したため、全国平均及び類似団体平均より給水原価が低くなっている。
- ⑦ 年間を通じた給水需要が多いため他の平均よりも高くなっている。
- ⑧ 全国平均及び類似団体平均値を上回っているが、漏水箇所の修繕や適切な設備更新に努め、更なる改善を図っていきたい。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

- ① 法適化初年度のため、低い水準となっているが、計画的な施設更新を図って行く必要がある。
- ② 法定耐用年数を超えた管路はないものの、老朽化による漏水も発生しているため、計画的な施設更新を図って行く必要がある。
- ③ 法定耐用年数を見極めながら更新をしていきたいい。

全体総括

- 平成29年度の料金改定により、一般会計への依存度が改善されている。料金改定以降も施設管路の老朽化が著しいため、今後の大規模修繕に備えていきたい。
- 老朽化への対応については、布設から年数が経過しているものが多く、漏水の頻度が多い管路の点検を実施し、補修や更新を検討・実施して安定した維持管理を図る必要がある。